



グループ討論の様子

講演に引き続き、参加者を2つに分けてグループワークをしました。今回は「ご近所付き合いゲーム」というシュミレーションゲームをしました。これは参加者が同じ町内に住んでいると仮定し、生活の中でお互いが助け合ったり協力したりすることで、楽しい毎日が過ごせることを再確認する目的で行われました。

参加者の皆さんは、ご自身やご家族の趣味や生活行為のうち、ご近所さんと一緒にしているものを整理しながら、仮想のまちでの生活像を作っていました。

Aグループは将来自分が高齢になったら旅行や散歩などのお付き合いができなくなるのではないかとことや自分の子供と同居するために地域からでていくかもしれないなど近所付き合いのある現在だけでなく将来的なまちのすがたについても考えられ、一緒に旅行にいたり、お茶を飲みながら雑談する仲間が近所にいることが高齢になっても楽しく生活するための条件ではないだろうかと話されました。



Aグループの成果発表

Bグループの成果発表



Bグループでは参加者の多くが現在働き盛りであり、それは望ましいことであるが、高齢化が進んだ将来が不安であるという意見があり、将来のことを考えると後継者が必要であるという結論がだされました。

次回の講座は1月23日に、大阪市立大学の藤田忍教授を招いて、「みんなで住むかたち」ということでコーポラティブ住宅についての講演です。

「住まい方なるほど講座」 予定表

	テーマ	講師	日時	場所
第1回	みんなでまちなかに 住もう楽しさ	浦山 益郎 (三重大学 教授)	11/6 (水) 午後7:00~	上市上ノ町 老人憩いの家
第2回	助け合って住む	西村 一郎 (奈良女子大学 教授)	11/25 (月) 午後7:00~	中央公民館 3・4研修室
第3回	高齢者の住まい	船橋 恵子 (パロドックス1級建築事務所)	12/21 (土) 午後7:00~	中央公民館 3・4研修室
第4回	みんなで住むかたち -コーポラティブ住宅-	藤田 忍 (大阪市立大学 教授)	1/23 (木) 午後7:00~	中央公民館 3・4研修室
第5回	研究成果発表会	河北 裕喜、船橋 紀浩 (三重大学 学生)	2月 下旬予定	中央公民館 3・4研修室